



春日新50年プランによるまちづくり

Vol. 16

魅力ある春日の未来図を実現するため、(A)市民活動拠点の整備、(B)都市機能の向上推進、(C)歴史自然景観の整備の3つの視点(プラン)による都市づくりを推進していきます。



▲春日新50年プラン



緑豊かなまちづくりの推進 計画的に街路樹を植栽しています

街路樹には、環境保全、景観向上、交通安全、防災など、さまざまな役割があります。

特に、春日市のような都市部においては、花や紅葉、緑陰など、四季折々に移り変わる街路樹の姿がまちを彩り、私たちの暮らしに安らぎを与えてくれます。

市は、緑豊かなまちづくりの推進のため、令和6年度から、計画的に街路樹の植栽を進めています。

街路樹の樹種選定に当たっては、歩道の幅員、電線や地下埋設物などの生育空間の制約に留意しています。その他、根上り(樹木の根っこが地表にせり上がってくる現象)を防ぐため、根を地下に誘導する地盤改良を行うなど、安全な道路空間を確保するように努めています。

また、病害虫の連鎖発生防止や、並木に変化を持たせるなどの観点から、同一路線に樹種の違う街路樹を混在させて植栽する取り組みも行っています。

さらに、街路樹の植栽と併せて、シバザクラなどを街路樹の根元に植栽し、雑草の抑制や景観の向上を図っています。

街路樹という資源を有効活用して安らぎを感じる空間を創出し、「緑豊かな都市」の姿を未来に引き継いでいきます。

市内の街路樹植栽計画(予定)

令和6年度は7路線・89本を植栽しました。今後の予定は次のとおりです。

▷令和7年度：13路線・165本

▷令和8年度：12路線・85本



▲泉地区の街路樹(3月植栽)



▲街路樹の根元に植栽したシバザクラ

問い合わせ先 都市計画課公園担当 ☎(584)1111(代) ☎(584)1143 ⑩1014394

